

セーフティ プロモーション スクール
(Safety Promotion School : SPS)
認証申請書



大阪教育大学附属特別支援学校

日本 Safety Promotion School 協議会

令和6年3月

目次

はじめに

I. 学校概要	・・・・・・・・・・	1
II. 学校統計	・・・・・・・・・・	1
III. 本校教育の概要	・・・・・・・・・・	3
IV. SPSの7つの指標	・・・・・・・・・・	6
V. 7つの指標に基づいた取り組み		
指標-1	・・・・・・・・・・	7
指標-2	・・・・・・・・・・	10
指標-3	・・・・・・・・・・	11
指標-4	・・・・・・・・・・	13
指標-5	・・・・・・・・・・	15
指標-6	・・・・・・・・・・	17
指標-7	・・・・・・・・・・	18
VI. 災害安全の実践内容(防火・防災学習の取り組み)	・・・・・・・・・・	19

はじめに

大阪教育大学の附属学校園は、池田地区、天王寺地区、平野地区の3地区に分かれています。池田地区と天王寺地区は、小学校、中学校、高等学校校舎の3校が存在しており、平野地区には、附属の幼稚園、平野小学校、平野中学校、高等学校平野校舎、特別支援学校の五校園が徒歩圏内に存在しています。この大阪教育大学附属11校園では、ここ大阪の地で社会的使命を果たすため、日々それぞれの校園で様々な取り組みが行われています。とりわけ平野五校園の特色としては、五校園が隣接する全国的にも珍しい環境下で、相互に様々な交流や共同研究を行いながら、防火・防災、防犯などの学校安全に関する取り組みを協同的に進めている点が挙げられます。そして本校においては、平野区役所や平野消防署、平野警察署、地域の人々と連携しながら防火・防災・防犯等の学習を実施し、その成果をウェブページ等で発信してきました。

このような取り組みの評価として、令和5年7月1日現在、高等部のある知的障害特別支援学校として唯一、令和6年1月17日（水）、SPS（Safety Promotion Schools）認証を受けることができました。そして、令和6年3月21日（木）にSPS認証記念式典を挙行することができました。

本校が学校安全を推進する理由として以下の3つが挙げられます。

1. 特別支援学校に求められる安全教育

安全な社会を実現することは、全ての人々が生きる上で最も基本的かつ不可欠なことであり、子どもたちが心身ともに健やかに育つことは、国や地域を問わず、時代を越えた、全ての人々の願いです。学校安全とは、学校環境において児童生徒、教職員、及び学校を訪れる人々の身体的・感情的・精神的な健康と安全を確保するための対策とプロセスを指します。

特別支援学校は、障害のある子どもたちが集い、人と人との触れ合いにより人格の形成がなされる場です。児童生徒が学び合い成長し、社会参加へ向けての「自立」を育む学校という場において、子どもたちが生き生きと活動し、安全安心に過ごせるようにするためには、様々な要因やリスク因に対処し、子どもたちの安全の確保を保障することが不可欠の前提となります。とりわけ時代の要請としては、インクルーシブ教育システム構築への需要が高まっており、様々なニーズをもつ児童生徒が共に学ぶ機会を提供するために、一人ひとりのニーズに対応した学校安全対策が求められています。以上の点から、附属特別支援学校として先進的な学校安全モデルを発信していくことが本校の使命と言えます。

学校管理下で発生している事故等のデータや犯罪被害、交通事故、自然災害の発生状況を見ると、児童生徒等が巻き込まれる被害件数等は、全体として減少しているところではありますが、児童生徒等の安全の確保という点では引き続き課題が多い状況であると言えます。また、特別支援学校に通う児童生徒等の安全に関する課題を考えると、児童生徒等の発達段階や障害の種類・程度に応じて留意すべきポイントも多岐にわたります。そして時間の経過とともに、附属池田小学校事件や東日本大震災等の記憶が風化し、学校安全に係る意識や取り組みの優先順位が低下することが危惧されています。一方で、今後発生が

懸念される首都直下地震や南海トラフ巨大地震、全国各地で発生している豪雨や熱中症アラート等の自然災害、感染症や交通事故・犯罪等に係る社会情勢の変化など、新たな課題が次々と顕在化し、喫緊の対応が求められています。

以上のことから、今後、特別支援学校における組織的な安全管理の一層の充実を図り、安全で安心な学校環境を整備するとともに、障害のある児童生徒がいかなる状況下においても自らの命を守り抜き、安全で安心な生活や社会を実現するために主体的に行動する態度を育成する安全教育を一層推進していきたいと考えています。

2. 児童生徒への安全学習と安全指導

本校には通学用のスクールバスがなく、公共交通機関の利用もしくは徒歩により、児童生徒が保護者と共に通学するか、学校から許可を得て児童生徒のみで通学（自力通学）を行っています。また、校内において児童生徒が安全安心に学校生活を送ることができるように設備面についても継続的に整備を行っています。

しかし、児童生徒の登下校や学校生活の様子を見ると、安全に関する一定の知識や技能、態度が身につくにはいるものの新たな課題が発生したり、課題が解決しないままになっていたりすることもあります。そのため、安全に関する基礎・基本的事項を系統的に理解し、思考力や判断力をさらに高めて、安全について適切な意思決定ができるような「安全学習」を推進していく必要があると考えます。そして、近い将来直面するリスクのある事故や災害等を含めた諸課題に対して、安全を保持増進する実践的な能力や態度の向上、さらには望ましい習慣の形成をめざした「安全指導」を行う必要があります。

このような内容は、小学部から高等部までの教育課程における特別活動の学校行事（健康安全・体育的行事）における避難訓練や安全教室と位置づけられていますが、その領域に限らず、その他の特別活動や学校行事、課外活動などで積極的に取り組んでいく必要があります。また、特別の教科 道徳においては、生命の尊重をはじめ、きまりの遵守、公德心、公共心など、安全な生活を営むために必要な基本的内容の指導を行うこととされていますので、安全にとって望ましい道徳的態度の形成を育むという観点から「安全学習」及び「安全指導」双方の基盤となる教育を行っていきます。

3. 大阪教育大学附属校園 平野地区における使命

平成13年6月8日に起きた附属池田小学校事件を教訓として、本学の池田地区にある附属池田小学校、附属池田中学校、附属高等学校池田校舎では、保護者、関係諸機関、地域と連携を図り、学校安全に取り組んでいます。

本校が属している平野地区においても、附属幼稚園、附属平野小学校、附属平野中学校、附属高等学校平野校舎、附属特別支援学校という全ての校園種がある特色を活かして、それぞれの学校園における過去の取り組みの経験等を踏まえ、保護者や関係諸機関、地域との連携を強化しながら学校安全に取り組んでいきます。具体的には、平野地区で考える学校安全教育として、幼児児童生徒等が、日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として生涯を通じて安全安心な生活を送る基礎を培うとともに、ダイバーシティ&インクルージョン（Diversity & Inclusion）を基本

とする社会の実現に向けて、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できる資質・能力を育成することをめざします。

また、平野地区で考える学校安全管理については、個々の幼児児童生徒等の発達段階及び障害の種類や程度等を踏まえ、学校環境における事故要因や幼児児童生徒等の学校生活における行動のリスク要因を早期に発見し、それらの速やかなる除去・低減を図るとともに、万が一事故等が発生した場合に適切な応急手当や安全措置ができるような体制を確立して幼児児童生徒等の安全確保を図ります。その際の安全管理として、幼児児童生徒等の心身状態の管理、様々な行動や生活の管理からなる対人管理、さらには学校の環境管理の一環である対物管理などを踏まえた方策を講じ実践します。

「安全で安心な学校」は「豊かな学び」を創造し「豊かな心」を育みます。本校は平成13年6月8日に発生した附属池田小学校事件を教訓に、平野地区にある大阪教育大学附属五校園の一角として、池田地区、天王寺地区とも力を合わせながら、共に安全・安心な学校づくりを日本全国、そして世界に発信していきます。

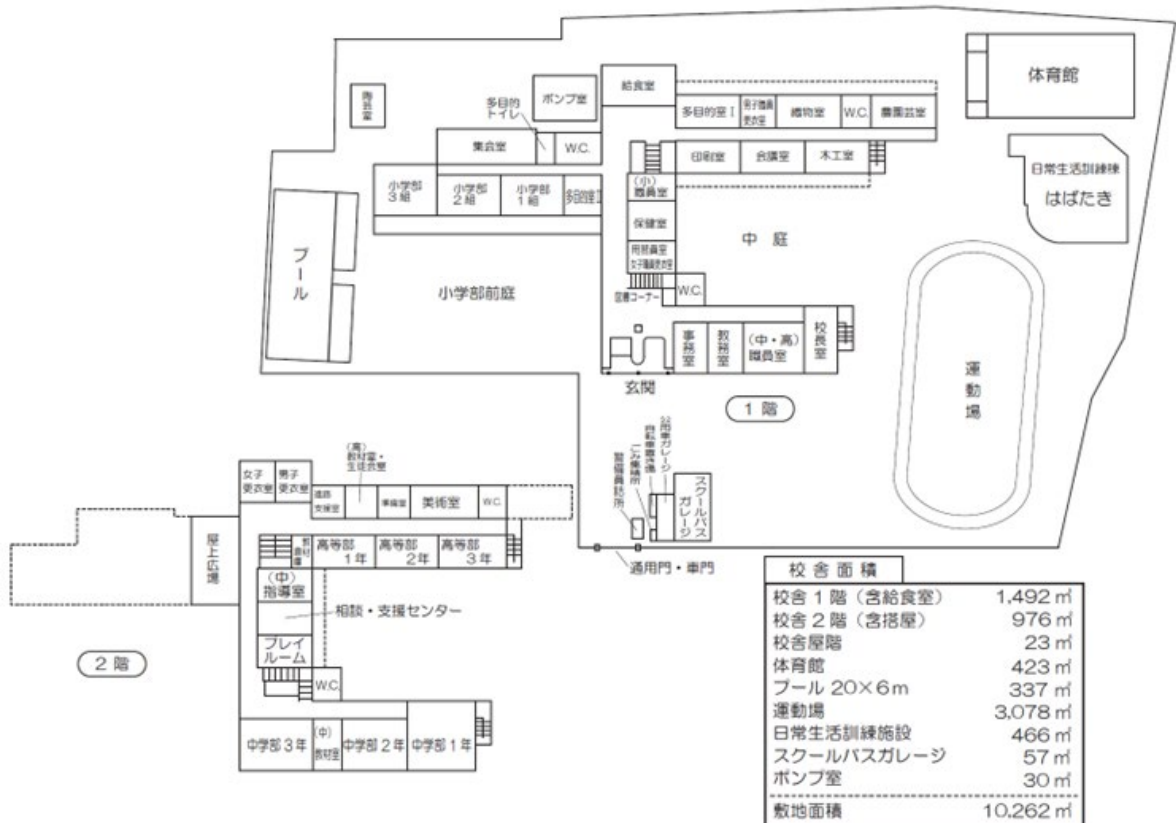
令和6年3月

I. 学校概要

1. 学校名 :	大阪教育大学附属特別支援学校
2. 所在地 :	大阪市平野区喜連4-8-71
3. 郵便番号 :	547-0027
4. 電話番号 :	06-6708-2580
5. Fax 番号 :	06-6708-2380
6. E-Mail :	fuzoku-se@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
7. Website :	https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/fuzoku-se/
8. 通学区域 :	大阪市、堺市、東大阪市、八尾市、松原市
9. 校長 :	西山 健
10. 副校長 :	岩崎 弘
11. 主幹教諭 :	小川 香織
12. 連絡担当者 :	丹沢 正太
13. 担当者職名 :	健康安全部 部長 (学校安全コーディネーター)

II. 学校統計

1. 生徒数 :	57名
2. 在籍児童生徒年齢 :	6~18歳
3. 常勤教員 :	30名
4. 非常勤教員 :	3名
5. 職員 :	4名
6. 校園種 :	特別支援学校



Ⅲ. 本校教育の概要

Ⅰ 本校の特色と役割

1. 附属特別支援学校の特色

- 1) 本校は、知的障害のある児童生徒を対象として、一人ひとりの障害や発達の状況に応じた適切な教育を行うことを目的とした学校である。
- 2) 1学年1クラス（小学部は2学年で複式学級）で構成するなど、きめ細やかな指導を目指す特別支援学校である。
- 3) 本学平野地区では、附属五校園（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）が連携を行い研究や交流を深めている。

2. 附属特別支援学校の役割

- 1) 上記の特色を生かした、先導的な教育課題への取り組み、地域における指導的・モデル的な学校としての取り組みを通して、質の高い教育支援を実践すること。
- 2) 大阪教育大学の附属学校として、大学教員と連携しながら特別支援教育の理論と実際に関する研究を行うこと。また、教育研究開発校として教育全般に関する先導的研究を行い、知的障害のある子どもの教育実践に役立てること。
- 3) 本学の教育実習機関として学生の教育実習、介護等体験実習、インターンシップ、学校実習（教職大学院生）などにおいて適切な指導を行い、もって次世代の教員養成の任を担うこと。
- 4) 特別支援教育のセンター的役割を担い、「相談・支援センター」を拠点に地域に情報発信していくこと。
- 5) 安全教育や防災教育などについて、地域や関係諸機関と連携しながら取り組んでいくこと。

2 教育目標・目指す子ども像

1. 教育目標

- ・自立と相互依存、社会参加に向けて一人ひとりの可能性を最大限に引き出す。
- ・キャリア教育の視点に立って卒業後の社会で生きる力を身につける。

2. 目指す子ども像

- ・明るく健康で意欲的な子ども
- ・仲間とともに活動に参加できる子ども
- ・自分で考え行動できると同時に、社会の一員としての自覚を持つ子ども

3 沿革

昭和36（1961）年度	大阪市東住吉区平野流町、 大阪学芸大学附属平野小学校に特殊学級開設
昭和37（1962）年度	小学部2学級となる
昭和38（1963）年度	大阪学芸大学附属平野中学校に特殊学級開設 39・40年度進行

昭和41(1966)年度	大阪学芸大学附属養護学校開校 小学部3学級中学部3学級となる
昭和42(1967)年度	大阪教育大学附属養護学校と校名変更 高等部開設 43・44年度と学年進行
昭和43(1968)年度	学校用地、大阪市東住吉区喜連町に決定
昭和44(1969)年度	新校舎建設開始
昭和45(1970)年度	新校舎へ移転 竣工式式典
昭和47(1972)年度	大阪教育大学教育学部附属養護学校と改称 プール完成
昭和48(1973)年度	校庭整備完了
昭和49(1974)年度	校内緑化推進 7月より住居表示を「大阪市平野区喜連4丁目8番71号」と変更
昭和50(1975)年度	創立10周年記念式典 校歌制定
昭和52(1977)年度	視聴覚教育研究会を開催
昭和53(1978)年度	スクールバスガレージ新設
昭和54(1979)年度	進入路車道部分が大阪市認定道路となる
昭和57(1982)年度	児童・生徒用トイレ全面改修
昭和58(1983)年度	視聴覚機器室全面改造 校舎壁全面改修
昭和59(1984)年度	屋外訓練施設完成
昭和60(1985)年度	創立20周年記念式典
昭和62(1987)年度	校舎内部壁面塗装 出入口 窓の改修 体育館どん帳新調 機器警備工事
昭和63(1988)年度	プール補修工事
平成元(1989)年度	陶芸室完成
平成3(1991)年度	屋上防水工事
平成4(1992)年度	体育館外壁工事 プール工事
平成5(1993)年度	体育館内装工事 校内給水管取替工事
平成7(1995)年度	創立30周年記念式典 課外クラブ活動開始 柏原キャンパス農場における農業実習開始
平成8(1996)年度	インターネット設置
平成9(1997)年度	日常生活訓練施設「はばたき」竣工
平成10(1998)年度	変圧器移設工事 プール工事
平成13(2001)年度	各教室・特別教室等を結ぶ校内LAN工事 本館と体育館・生活訓練棟を光ファイバーで結ぶ整備
平成16(2004)年度	大阪教育大学附属養護学校と改称
平成17(2005)年度	創立40周年記念式典
平成19(2007)年度	大阪教育大学附属特別支援学校と改称
平成20(2008)年度	耐震工事完成 校舎全面改修
平成23(2011)年度	プール工事開始
平成24(2012)年度	プール竣工・記念式典(プール開き)開催

	小学部前庭築山改修工事
平成 26 (2014) 年度	体育館 L E D 照明工事
平成 27 (2015) 年度	創立 50 周年記念式典・行事
令和 元 (2019) 年度	相談・支援センター設立 校舎外周フェンス改修工事
令和 2 (2020) 年度	駐車場から農園芸室前までのアプローチロードの整備工事
令和 3 (2021) 年度	GIGA スクール構想による児童生徒のためのパソコン 供与と校内ネットワーク環境整備工事 (第 1 期)
令和 4 (2022) 年度	校内ネットワーク環境整備工事 (第 2 期) プールサイド補修工事 運動場芝生工事 掲揚台設置
令和 5 (2023) 年度	釜山大学特殊教育学科の視察受入 カザフスタン教員団の視察受入 日本 SPS 協議会への活動支援申請・登録

IV. セーフティ プロモーション スクール (SPS) の7つの指標

指標1 (組織)	学校内に「学校安全コーディネーター」等を中心とする学校安全推進のための「学校安全委員会」が設置されている。なお、学校安全委員会は、「学校安全コーディネーター」のほか、校長、副校長、主幹等の学校管理職を含む教職員の代表、児童生徒代表、PTA代表、学校を管轄する地域の警察署・消防署の代表、学校のある地域自治会の代表、スクールリーダー等の学校ボランティアの代表等から構成されることが望ましい。
指標2 (方略)	学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、セーフティ プロモーションの考え方に基づいた「中期目標・中期計画 (3年間程度)」が設定されている。
指標3 (計画)	学校安全委員会に置いて、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域ごとに具体的に策定されている。
指標4 (実践)	「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。
指標5 (評価)	学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ分析に基づく明確な根拠をもとに学校安全推進活動に対する評価が行われている。
指標6 (改善)	学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。
指標7 (共有)	学校安全推進に関わる活動の成果が、当該の学校関係者や地域関係者に広報・共有されるとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の発信・共有と新たな情報の収集が継続的に実践されている。

V. 7つの指標に基づいた取組

指標I(組織)

大阪教育大学附属特別支援学校

学校内に「学校安全衛生管理部会」を設置し、その部会内において学校安全に関わる活動の中核を担う「学校安全委員会」を組織し、「学校安全コーディネーター」ならびに「安全主任」を中心として、学校安全を持続的に推進していくために構成されている。なお、学校安全委員会は、学校安全コーディネーターならびに安全主任のほか、統括学校安全管理者を校長、統括者を副校長とし、主幹教諭、指導教諭、各学部主事、健康安全部長、保健主事、養護教諭、学校事務職員、栄養士で教職員代表が構成されている。

学校安全委員会の構成

		(役職例)：氏 名
統括者	統括学校安全管理者 統括者	・(校 長)：西山 健 ・(副 校 長)：岩崎 弘
共同委員長	学校安全コーディネーター 安全主任	・(健康安全部長)：丹沢 正太 ・(安全主任)：小川 香織
委員	教職員代表	・(主 幹 教 諭)：小川 香織 ・(指 導 教 諭)：白樫 麻紀 ・(小学部主事)：西井 大介 ・(中学部主事)：大原 健哲 ・(高等部主事)：松本 宜明 ・(保 健 主 事)：丹沢 正太 ・(養 護 教 諭)：太田 令菜 ・(学校事務職員)：常田 美子 ・(栄 養 士)：川邊 直美
委員	児童・生徒代表	※ ****
委員	保護者代表	※ ****
委員	警察関係者(関係諸機関)	・(平野警察署生活安全課)： 藤元 慎二
委員	消防関係者(関係諸機関)	・(平野消防署地域担当)： 山川 長次郎 安東 秀記 上田 眞士
委員	保健所関係者(関係諸機関)	※ ****
委員	児童福祉関係者(関係諸機関)	※ ****
委員	市町村危機管理部局関係者(関係諸機関)	・(平野区安全安心まちづくり課)： 黒川 俊浩
委員	地域自治会代表者(地域)	・(喜連連合振興町会)： 黒田 哲志
委員	地域ボランティア代表(地域)	※ ****

※今年度は該当者なし。今後、検討を行う。

大阪教育大学附属特別支援学校 学校安全衛生管理部会規定

1. 名称

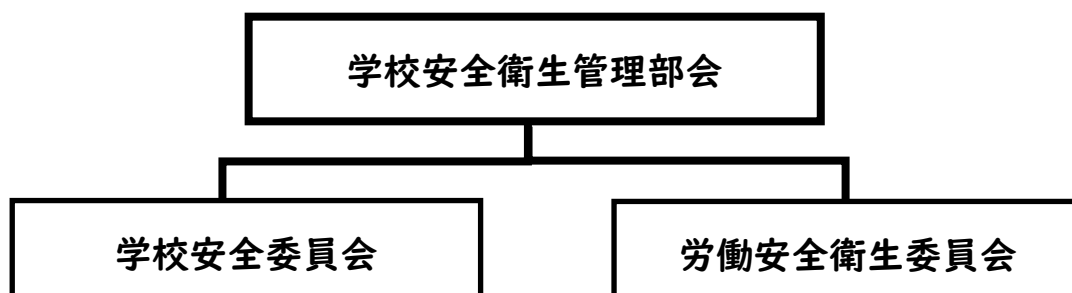
名称を、学校安全衛生管理部会とする。

2. 目的

学校安全（生活安全・災害安全・交通安全）と、教職員の労働災害の防止、労働環境の整備及び改善、健康の保持増進による働きやすい職場づくりを目的とし、学校安全の推進のための体制、並びに労働安全管理体制を整備し取り組みを推進する。

3. 構成

学校安全衛生管理部会は、その傘下に「学校安全委員会」及び「労働安全衛生委員会」を設置する。



4. 各委員会の目的と内容

学校安全委員会

学校安全（生活安全・災害安全・交通安全）の推進を目的とする。セーフティ プロモーション スクール（Safety Promotion School：SPS）の理念に基づいて、自ら安全に行動したり、他の人や社会の安全のために貢献したりできるようにすることを目指す「安全教育」、児童生徒等を取り巻く環境を安全に整えることを目指す「安全管理」、これらの活動を円滑に進め 学校安全推進の取り組みを発信・共有し協働する「安全連携」を持続的に推進していく。

労働安全衛生委員会

学校における労働安全衛生管理体制の整備を目的とし、教職員が教育活動に専念できる適切な労働環境を確保することで、学校教育全体の質の向上をめざす。労働安全衛生法の趣旨に則り、労働災害防止の取り組みを労使が一体となって行うために、安全委員会、衛生委員会（両委員会を統合した安全衛生委員会を本校では労働安全衛生委員会とする）において、労働者の危険又は健康障害を防止するための基本となるべき対策（労働災害の原因及び再発防止対策等）などについて、調査審議を行う。

5. 会議の開催

開催については、学校安全委員会の委員長及び労働安全衛生委員会の委員長と学校安全衛生管理部会長が協議の上、学校安全衛生管理部会長が決定し招集する。招集者は会議内容により決定し招集するものとする。

6. 学校安全衛生管理部会組織図



指標2(方略)

大阪教育大学附属特別支援学校

学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、セーフティプロモーションの考え方に基づいた「中期目標・中期計画（3年間程度）」が設定されている。

分野	中期目標・中期計画
<p>生活安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外傷予防 ・ 犯罪予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校内での危険や危険箇所を視覚的に提示し、危険回避能力を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> →校内安全マップを作成し、各学部に掲示する。 →階段に中央分離線を引き、昇降時の衝突事故等を防ぐ。 ・ 校内の危険箇所のチェック体制を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> →教職員以外にも、児童・生徒と一緒に校内点検を行う。 →全朝にて危険箇所の周知を児童・生徒会や安全委員会から行う。 ・ 専門的な知見を有する関係諸機関と連携し、犯罪予防や不審者対応に関する知識と態度を養う。 <ul style="list-style-type: none"> →教職員の防犯への意識向上と、児童・生徒の障害特性や発達段階に応じた安全教育を行う。 ・ 附属平野五校園と共同した防犯避難訓練等の連携強化を図る。
<p>災害安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震対策 ・ 風水害対策 ・ 火災予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震、風水害、火災における有事の災害に対する安全な避難を実現する校内体制を確立する。 ・ 本校版「危機管理マニュアル」に基づき、教職員の防災に対する意識を高め、児童・生徒の安心、安全を第一とする個の役割を考え、避難誘導と指示システムのスマート化をめざした体制を構築する。 ・ 平野消防署、平野区役所等の関係諸機関との連携を図り、専門的な知見から効果的な避難訓練の実施または防火・防災学習での自助、共助の体験的な学びを実施する。 ・ 地域連携を意識した防火・防災学習を実施する。 ・ 附属平野五校園との連携を意識した防火・防災学習を実施する。
<p>交通安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被害予防 ・ 加害予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校における「自立通学規定」を策定し、自立登校の児童・生徒に対する安全確保の体制を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> →有事の際の関係諸機関ならびに保護者への連絡、連携の強化、教職員の登校下校時の把握体制を整備する。 ・ 公共交通機関の使用時のマナーやルール、歩行者や自転車利用者としての規則を守る交通安全教育を行う。 <ul style="list-style-type: none"> →平野警察署交通課と連携し、障害特性や発達段階に応じた交通安全教育を実施する。 ・ 通学路の危険箇所を把握し、危険情報の共有化を図ることで児童・生徒の安全確保に努める。 <ul style="list-style-type: none"> →教職員による巡回指導を実施し、危険情報の共有を図る。

指標3(計画)

大阪教育大学附属特別支援学校

学校安全委員会に置いて、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域ごとに具体的に策定されている。

分野	領域	年間計画
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部にてテーマ別の健康教室を実施する。 ・ケースを想定した不審者対応訓練を実施する。 ・附属池田中学校による生徒視点での校内の危険箇所について交流、連携を図る。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員による各学期の校内点検を実施する。 ・PDCA サイクルに基づく危機管理マニュアルの改訂を行う。 ・教職員による普通救命講習を実施し、救急救命の技術の向上を図る。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・平野警察署生活安全課と連携した、教職員の不審者対応に関する知識と技術の向上を図る。 ・附属平野五校園と共同防犯避難訓練を実施する。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、津波または大和川の氾濫時、火災等を想定した避難訓練を実施する。 ・避難訓練と関連付けた防火・防災学習を実施し体験的プログラムから自助、共助の意識や態度を養う。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・本校版「消防計画」ならびに「危機管理マニュアル」の役割分担・任務の遂行を確認する。 ・防災備蓄倉庫の確認、点検を行う。 ・災害時における保護者への連絡体制の確認を行う。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・平野消防署、平野区役所、地域等の関係諸機関と連携を図った火災・地震対応等の避難訓練ならびに防火・防災学習を実施する。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・交通等のルールやマナーに留意した、各学部の障害特性や発達段階に応じた安全教育を実施する。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・本校版「自立通学規定」に基づいた自立通学者の通学路の把握、連絡体制の把握、確認を行う。 ・各学期始めにおける登校時の通学路巡回指導を実施する。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・平野警察署生活安全課ならび交通課と連携し、通学路巡回時の安全確保を図る。

月	安全管理・点検	安全指導	環境	教職員
4	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 学校安全計画の作成・配布 学校危機管理マニュアルの作成・共有 食中毒対策（消毒スプレーの配布） 給食設備の衛生点検 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全指導① 火災避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃用具の整備 イス・机の整備 飲料水水質検査（薬剤師） グラウンド整備・屋上清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員火災避難訓練 教職員防犯避難訓練 新転任者スクールバス避難訓練 第1回労働安全衛生管理部会 救急救命法講習会（本校普及員）
5	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検、運動場・前庭整備 食中毒対策 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバス避難訓練 経路別下校指導 防犯避難訓練（不審者） 	<ul style="list-style-type: none"> プール清掃 体育的行事「運動会」 安全管理 	<ul style="list-style-type: none"> プール委員会 救急救命法講習会（本校普及員）
6	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 食中毒対策 プール管理 	<ul style="list-style-type: none"> プール学習事前指導 安全の日 	<ul style="list-style-type: none"> プール管理 プール水質検査（薬剤師） 	<ul style="list-style-type: none"> プール委員会 救急救命法講習会（本校普及員） 安全の日
7	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症予防指導 夏休み前安全指導 	<ul style="list-style-type: none"> プール管理 大掃除 	<ul style="list-style-type: none"> プール委員会
8	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業中 防災備蓄倉庫の確認、点検 			
9	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 運動場・前庭整備 食中毒対策（消毒スプレー入れ替え） 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全指導② 交通安全教室 火災避難訓練（負傷者あり、消防署） 熱中症予防指導 	<ul style="list-style-type: none"> グラウンド整備 毛虫駆除 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員防犯訓練（警察署・さすまた講習） 教職員火災避難訓練 第2回労働安全衛生管理部会
10	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 		<ul style="list-style-type: none"> グラウンド整備 	
11	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 			
12	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 暖房設備の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 大掃除 換気指導 冬休み前安全指導 持久走練習事前指導 	<ul style="list-style-type: none"> 文化的行事「文化祭」 安全管理 	
1	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検、運動場・前庭整備 感染症対策（加湿器の整備、消毒スプレー入れ替え） 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全指導③ 地震・津波避難訓練 換気指導 	<ul style="list-style-type: none"> グラウンド整備 空気検査 「持久走記録会」 安全管理 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回労働安全衛生管理部会
2	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> 換気指導 		
3	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> 大掃除 春休み前安全指導 		

指標4(実践)

大阪教育大学附属特別支援学校

「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。

分野	領域	活動・実践の内容
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣や予防医学、危機管理等、月毎に安全・衛生教育を実施し、各学部の障害特性や発達段階に応じた取り組みを実施した。 ・不審者対応訓練の実施【R5.4.5(教職員 37名)】【R5.5.30(児童・生徒 57名、教職員 37名)】【R5.9.15(教職員 37名)】 ・附属池田中学校の生徒視点による校内の危険箇所を動画から分析し、安全面の確保や校内環境を整備する検討を行った。【R5.10.25(附属池田中学校中2生徒 146名)】
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員による担当箇所の校内点検を実施した。 1学期【R5.4.30(教職員 37名)】 2学期【R5.7.31(教職員 37名)】 3学期【R6.1.9(教職員 37名)】※随時、定期点検を実施。 ・評価・改善に基づく危機管理マニュアルの改訂(年度末)【R6.2.20】【R6.3.22】 ・普及員からの教示で教職員の普通救命講習を実施し、再受講を行った。1回目【R5.4.4(教職員 10名)】2回目【R5.6.6(教職員 20名)】
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・平野警察署生活安全課と連携し、教職員ならびに児童・生徒を対象とした不審者対応訓練を実施した。教職員は生活安全課の指導員からさすまた講習会を実施し、防犯に関する知識と技術向上を行った。【R5.9.15(平野警察署 2名、教職員 37名)】 ・附属平野五校園と共同した防犯避難訓練では本校安全主任が参加した。【R5.6.8(教職員 2名)】
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、津波または大和川の氾濫時、火災等を想定した避難訓練を実施した。【R5.4.5(教職員 37名)】【R5.5.2(児童・生徒 57名、教職員 37名)】【R5.10.11(児童・生徒 57名、教職員 37名)】【R6.1.23(児童・生徒 57名、教職員 37名)】 ・様々な状況を想定した防火・防災学習を実施し、関係諸機関の防災に関する専門的な知見から各学部の障害特性や発達段階に応じた体験的プログラムを行った。【R5.10.11(児童・生徒 57名、教職員 37名)】

	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画ならびに危機管理マニュアルに沿って避難訓練時における振り返りと共有を行った。(教職員 37 名) ・防災備蓄倉庫の確認、点検を行った。 【夏季休業中 (教職員 5 名)】 ・年度当初に有事における児童・生徒の引き渡しについての保護者への連絡体制の周知を行った。 【R5.4.10 (全校保護者 57 名)】
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・平野消防署、平野区役所、地域等の関係諸機関と連携した防火・防災学習を実施し、日常生活物品を活用した応急手当や防災に関する専門的な指導・支援から体験的な学習を行なった。 【R5.10.11 (平野消防 3 名、平野区 6 名、地域 3 名、児童・生徒 57 名、教職員 37 名)】 ・防火・防災連絡協議会 【R5.7.20 (平野消防 3 名、平野区 5 名、地域 4 名、教職員 6 名)】 【R5.9.14 (平野消防 3 名、平野区 4 名、地域 4 名、教職員 6 名)】 【R5.11.29 (平野消防 3 名、平野区 4 名、地域 4 名、教職員 6 名)】
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部の障害特性や発達段階に応じた交通安全教室を実施し、公共交通機関を利用時のルールやマナーを学習した。 【R5.9.25 (児童・生徒 57 名、教職員 37 名)】
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・自立通学規定を策定し、登下校時における安全確保や緊急時の対応における学校管理体制の基盤を作成した。【R5.4.1 施行】
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期の始業日において、教職員代表が輪番で巡回指導を行った。 1 学期【R5.4.10～12 (教職員 3 名)】 2 学期【R5.9.1～5 (教職員 3 名)】 3 学期【R6.1.9～11 (教職員 3 名)】 ・本学ネットワークより、事故・不審者情報等の注意喚起を管理部門から各学部に発信し情報共有を行った。

指標5 (評価)

大阪教育大学附属特別支援学校

学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ分析に基づく明確な根拠をもとに学校安全推進活動に対する評価が行われている。

分野	領域	成果と分析・評価
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・月毎のテーマ内容に沿って指導を行い、パワーポイントスライドを中心に、児童・生徒の障害特性や発達段階に応じたクイズ形式での回答など行動評価とした。 ・児童・生徒対象の防犯避難訓練後に恐怖心がないか、精神的な負担を与えないような指導・支援や本校の防犯マニュアルに沿って教員の誘導等、スムーズに避難をすることができた。 ・附属池田中学校の安全教育の実践を参考にし、本校で実践できていなかった児童・生徒視点の安全点検を図るきっかけづくりとなった。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学期毎の安全点検では、目視による不良箇所等を見つけた際は、担当者が改善の要請をして修復・修繕をすることができた。 ・訓練後のアンケートを実施し、PDCA サイクルシートを用いて事後の改善に努めた。 ・全教員が普通救命講習を受講し、消防局発行の修了証再受講記録を更新することができた。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・平野警察署生活安全課と連携し、教職員対象の避難訓練やさすまた講習を実施することで、個人の防犯に対する意識と技術を向上することができた。 ・緊急時の連絡体制や附属五校園としての連携の在り方を考える機会となった。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・各避難訓練において、様々な状況を想定したなかで本校の火災、地震、津波時マニュアルに沿って教員の誘導等、スムーズに避難をすることができた。 ・防火・防災学習では、地震避難訓練から各プログラム体験を実施した。煙幕、避難所、防災グッズ、水消火器、バケツリレー、応急手当、救急救命講習等のブースを設けて取り組み、児童・生徒が意欲的に楽しんで防火・防災を学ぶ機会となった。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画ならびに危機管理マニュアルに沿って避難訓練を実施し、PDCA サイクルシートを用いて事後の改善とマニュアル修正に努めた。 ・防災備蓄倉庫の期限等の確認、更新を行なった。 ・全保護者にプリントを配布し理解と協力を得た。

	安全連携	・今年度は防火・防災学習の実施に際して、地域連携の強化に取り組み、事後の総括も含めて計3回の連絡協議会を開催した。本実施については関係諸機関からも高い評価を得た。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	・パワーポイントスライドを中心に交通安全教室を実施し、児童・生徒の障害特性や発達段階に応じたクイズ形式での回答など行動評価とした。また教員自作の信号機や実際に校外に出たの現地訓練等、実態に合わせた体験的な取り組みができた。
	安全管理	・昨年度、本校の自立通学者に対する規定を策定した。現在の自立通学者状況の集約と危機管理体制の強化を含めた保護者への通知とその内容について理解を得た。
	安全連携	・各学期の始業日において、教職員代表が輪番で巡回指導を行い、通学路の児童・生徒の安全の確保や交通ルールやマナーについての指導を促すなかで、指導・支援件数は0であった。

指標6(改善)

大阪教育大学附属特別支援学校

学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。

分野	領域	課題への対応と改善
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・月毎のテーマ内容に沿って指導を行ってはいるが、全朝での安全教育の啓発、発信や児童・生徒の障害特性や発達段階に応じた体験的な活動プログラムを考えていく。 ・児童・生徒の安心、安全の確保とよりよい避難誘導の支援のあり方を継続して考察する。 ・附属池田中学校の実践を参考に、本校でも児童・生徒視点の安全点検を考えていく。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の教職員のみ安全点検ではなく、児童・生徒の視点を取り入れながら、一緒に日常的に身の回りのリスクに気づくことができるようなチェック体制を整える。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な視点の振り返り内容を参考にし、児童・生徒の視点も汲み取ったPDCAサイクルとなるように改善に努める。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・校内だけではなく、地域や附属平野五校園との具体的な連携強化に向けた避難マニュアルの体制づくりと避難訓練の実施を考えていく。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の緊急メールの配信テストなど、保護者も参加する防火・防災学習のあり方と有事の実践的な避難訓練の実施を考えていく。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係諸機関の連携強化のみならず、専門的な視点を持った助言(民間企業等)の誘致や附属平野五校園と共同した取り組みの実践を考えていく。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・平野警察署交通課と連携した安全教育の実施を検討し、専門的な視点からの教示と体験的なプログラムの実践を考えていく。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・安全委員会や保護者と連携を図り、登下校時におけるより具体的な学校安全体制の構築と協力体制を考えていく。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のみならず、危機管理と学校安全の重要性を発信しながら、保護者や喜連地域の協力を得て登下校時の指導・支援体制を考えていく。

指標7(共有)

大阪教育大学附属特別支援学校

学校安全推進に関わる活動の成果が、当該の学校関係者や地域関係者に広報・共有されるとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の発信・共有と新たな情報の収集が継続的に実践されている。

分野	領域	成果の共有と協働
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議での連絡、共有 ・保健だよりによる啓発 ・保健室前掲示板への掲示、啓発 ・学部集会での児童・生徒への周知
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりによる啓発 ・保健室前掲示板への掲示、啓発 ・学校ホームページへの掲載
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの内容の助言、改善 ・平野警察署との連携 ・附属池田中学校との交流、連携
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議での提案、協議 ・避難訓練を通じた児童・生徒への周知 ・学部だよりによる保護者への報告、周知 ・学校ホームページへの掲載
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・本学ネットワークシステムを活用した共有 ・平野消防署、平野区役所、地域等の関係諸機関との連絡協議会にて提案、協議
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学部だよりによる報告 ・平野消防署、平野区役所、地域との連携
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議での共有 ・学部だよりによる報告
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりによる共有 ・自立登校者リストの共有
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・本校警備会社、平野警察署交通課との連携

VI. 災害安全の実践内容(防火・防災学習の取り組み)

令和5年度 防火・防災学習実施要項

1. 日 時 令和5年10月11日(水) 9:30~12:00 ※雨天決行

2. 目 的

近年、我々の身近な地域でも甚大な影響を与える災害が多く起っている現状がある。災害における危機対応能力の向上は、障害の有無に関係なく災害大国である日本に暮らす人々にとって欠くことのできないものである。

上述を踏まえ、本校で実施する防火・防災学習を通して災害時における危険を認識し、日常的な備えを体験的に学習することを目的とする。また、状況に応じて的確な判断の下、自らの安全を確保することや地域社会で安全・安心を意識した自助・共助・公助の理念を育むきっかけづくりとして、それぞれの自立と相互依存、社会参加に向けて一人ひとりの役割意識や協働、共生していくための力を身につける。

3. 場 所 体育館、バス車庫、訓練棟、農園芸室 ※集会室(雨天時のみ)

4. 参 加 者 児童生徒57名(小学部16名、中学部18名、高等部23名)、教職員37名、
大阪市消防局平野消防署(地域担当:山川、安東、上田)
大阪市平野区長(武市佳代)
平野区役所(安全・安心まちづくり課防災担当:丸山、黒川、上田、齋藤、大崎)
喜連地域連合(黒田、山野、杉本、浅島)

5. 係 分 担 全体進行(丹沢)、会場設営、運営等(健康安全部)

6. 実 施 内 容 避難訓練、煙幕体験、消火体験、救急救命体験、防災体験、消防車体験など

7. 当日の予定(晴天プログラム)

時 程	小学部	中学部	高等部
9:30	副校長 放送「ただいまより、防火・防災学習を行います」		
9:35	避難訓練 ※本校地震・津波避難訓練実施要項に準ずる		
9:45	防災学習開校式【校長、平野区長挨拶、平野消防署・平野区役所・喜連地域紹介】		
9:55	児童・生徒代表挨拶【小:吉濱然(6年生)】【中:木元隆宏(生徒会会長)】		
10:00 (30分間)	煙幕体験 避難所体験 応急手当体験	消防車体験・ 防災体験(毛布担架) ※雨天時はバス車庫	救急救命講習 (AED含む)
10:30	各学部移動		
10:35 (30分間)	水消火器・ バケツリレー体験 ※雨天時は訓練棟1F	煙幕体験 避難所体験 応急手当体験	消防車体験・ 防災体験(毛布担架) ※雨天時はバス車庫
11:05	各学部移動		
11:10 (30分間)	消防車体験・ 防災体験(毛布担架) ※雨天時はバス車庫	水消火器・ バケツリレー体験 ※雨天時は訓練棟1F	煙幕体験 避難所体験 応急手当体験
11:45	防災学習閉校式【平野消防署、平野区役所、喜連地域より講評、副校長挨拶】		
11:50	生徒代表挨拶【高:中嶋涼乃(生徒会会長)】		
11:55	各学部解散		

※雨天プログラム: 9:45~スタート、避難訓練は第一次避難所までの確認。

その後教室に移動。オンラインによる開校式。

10:00~は晴天プログラム同様(上記太枠)。

11:45~オンラインによる閉校式。☆開閉校式は会議室にて行う。

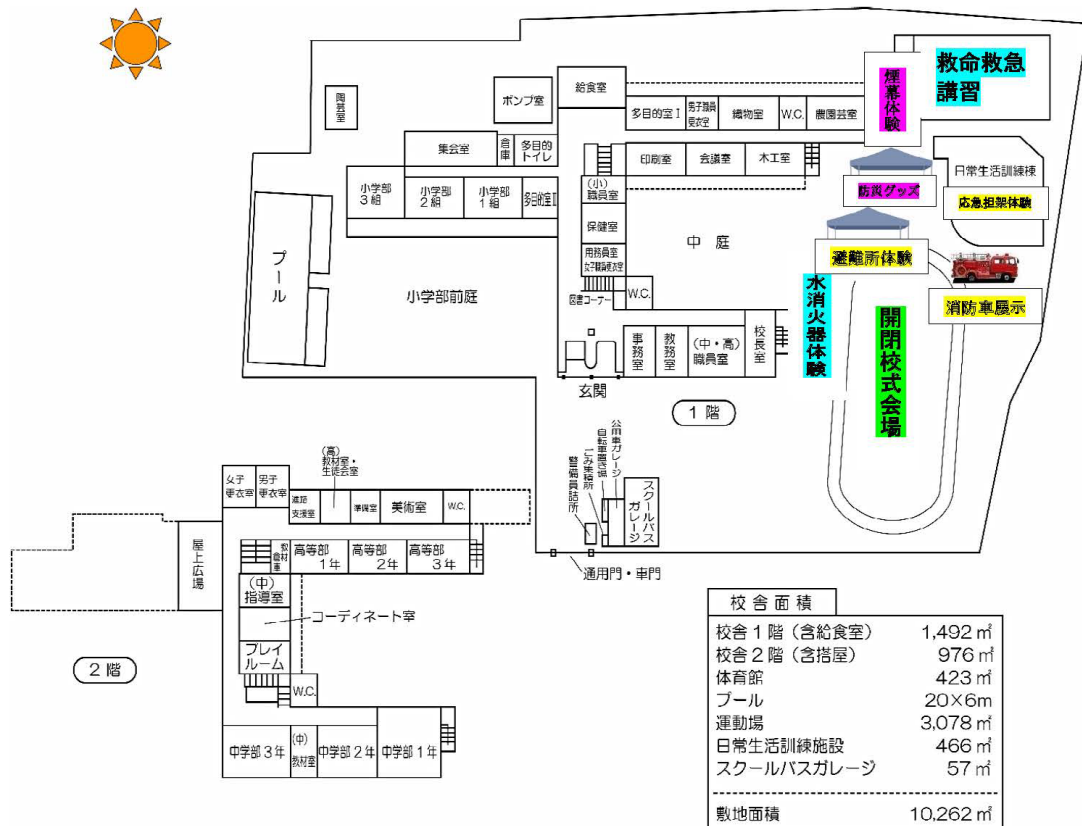
8. 準備物 大テント×3、小テント×4、アンプデッキ1台、マイク2本、
運動場ベンチ×7バケツ、カラーコーン、運動場パイプ椅子×10、
トラパー×数本、平野区備蓄物品、災害対策用造水機×1、
ビニールシート、電子黒板、ICT関係（PC 機器など）
※気候によっては、スポットクーラー等の熱中症対策（体育館）など

9. 前日準備 令和5年10月10日（火）15：00～ 健康安全部
平野消防署、平野区担当者、喜連連合地域等、各関係者来校予定
※応急手当伝達講習会 同日 16：15～（本校教職員対象）
※煙幕テントの搬出 10月12日（木）の予定

10. 予算 今後の取り組み内容によっては、要検討。

11. 体験内容

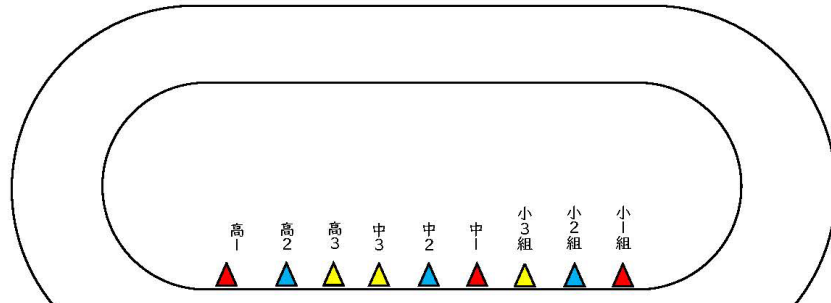
消防車展示・応急担架・避難所体験	煙幕・防災グッズ体験	水消火器、救急救命体験
<ul style="list-style-type: none"> ○消防車展示 消防吏員の指示に従って、乗車体験をする。 ☞雨天時：SB 車庫で乗車 ○応急担架体験 毛布を使った応急担架の体験をする。 ☞雨天時：玄関ホール ○避難所体験 災害時の簡易トイレや災害ベットの体験をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員が先頭と最後尾につき、児童・生徒をはさんで体験する。 ○前の人の肩を持って行動する。（ムカデ方式） ○体調を見て臨機応変に対応する。 ○防災グッズ レジ袋を使った防災グッズの作成 ☞雨天時：玄関ホール ※煙幕量は調整可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ○胸骨圧迫体験 ・高等部のみ救急救命体験 ・救命救急については消防吏員からの指導・助言など。 ○水消火器体験（小・中学部） バケツリレー（中学部のみ） ※晴天時：運動場での放水 ☞雨天時：訓練棟から放水



12. 体験内容詳細ならびに配慮事項（各プログラム詳細図、補足等）

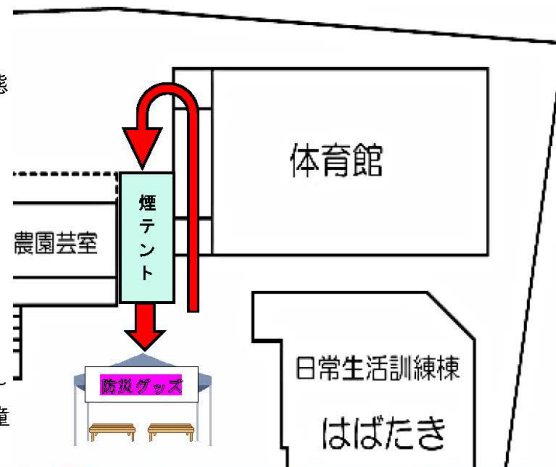
① 開閉校式（晴天時：運動場 雨天時：各 HR 教室）

※雨天時は会議室からオンライン配信。各 HR 教室から実施する。



② 煙幕体験、防災グッズプログラム

- 右図の進行通りに一方通行で行う。
 - 煙幕量は調整が可能なので、子どもの実態に応じて指導員に伝える。
 - 感染状況に応じて人数の制限があり。
※指導員の指示に従って取り組む。
 - 児童・生徒はテントで待機する。
 - グループ編成は各学部で行う。
 - 待機場所として農園芸室も開放する。
 - 防災グッズ体験に関しては、事前に消防
吏員から伝達講習を行う。
- ※令和5年10月10日（火）16：15～
- 伝達講習を踏まえて、当日は教員から児童・生徒に教示する。

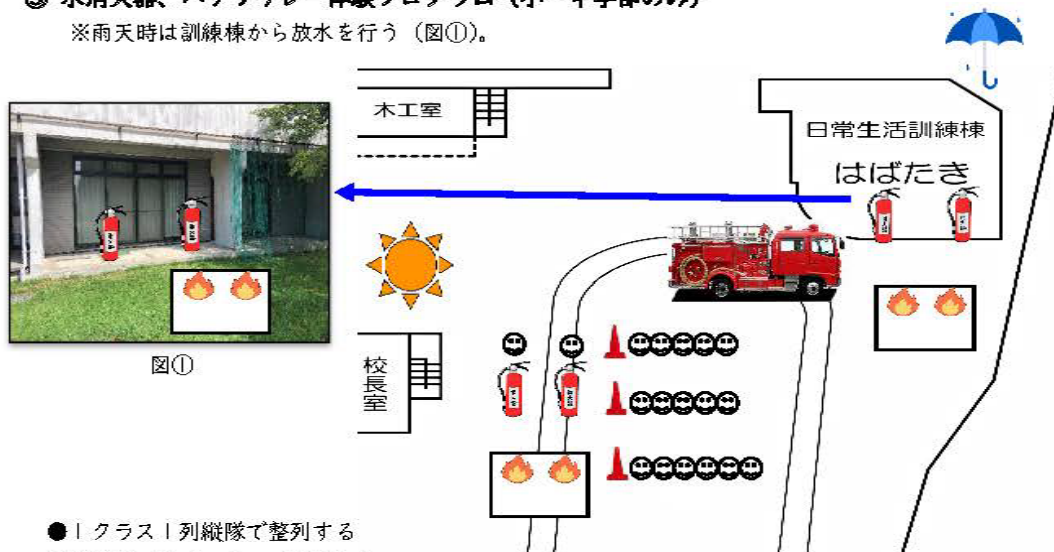


防災グッズ体験



③ 水消火器、バケツリレー体験プログラム (小・中学部のみ)

※雨天時は訓練棟から放水を行う (図①)。



図①

- 1クラス1列縦隊で整列する
- 指導員の指示に従って取り組む。
- 中学部のバケツリレー (図②) については、指導員の指示に従って取り組む。学校からはバケツの他に水を汲める道具 (学校既存のもの) を事前に準備しておく。
- 時間の合間に消防車展示鑑賞や乗車体験が可能。指導員の指示に従う。



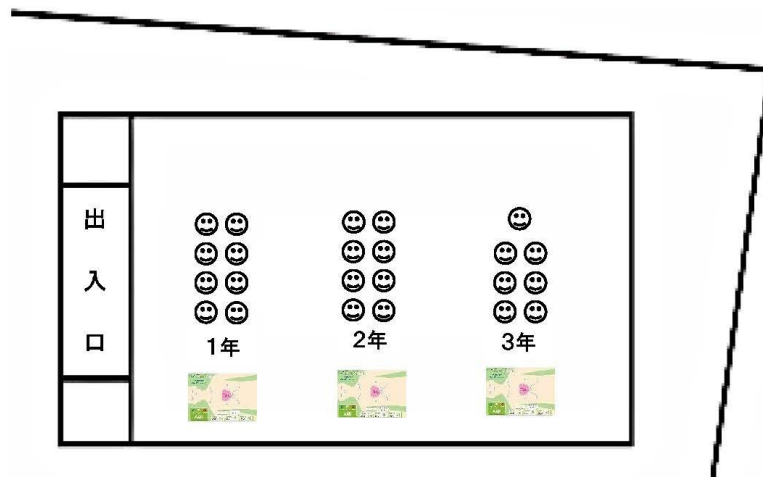
図②

- 生徒9人と教師4人の1グループとして2回実施する。
- 指導員の指示に従って取り組む。
- 最後の標的への投てきは、生徒と協力して搬送した水を活用して教員が消火作業するという名目で、炎の標的を倒す。

★支援学校案



④ 救急救命プログラム（高等部のみ）



救急救命体験

- 1クラス2列縦隊で整列する。（高1年8名、高2年8名、高3年7名・・・全23名）
- 胸骨圧迫を中心に実地訓練を行う。※本校のAED場所を改めて生徒に教示する。
- 指導員の指示に従って取り組む。



⑤ 消防車展示、避難所体験、応急担架体験プログラム

- 避難所体験に関しては、消防車展示や応急担架体験の合間に行う。
- 防災関連展示品一例（災害対策用造水機、※簡易トイレ、※避難所用パーテーション、備蓄品など）
※平野区安全・安心まちづくり課防災担当よりご準備いただく。
- 本校からは保健関連の啓発ポスター等を展示予定。
- 消防車展示や訓練棟での応急担架体験では、指導員の指示に従って行う（下図参照）。
※訓練棟内はブルーシートを敷くため、土足で入室可能。



イメージ図

日常生活訓練棟

応急担架体験

※毛布での担架作り

ブルーシートを敷いて、土足での出入り可能。

出入口



避難所体験



消防車展示